

第12回 瀬戸内4県都市長会議を開催しました

令和8年8月18日（火）に、広島競輪場（広島市南区宇品海岸3丁目6-40）において、「第12回 瀬戸内4県都市長会議」を開催しました。

本会議は、4市（岡山市、広島市、高松市及び松山市）が連携して共通課題に取り組み、互いの特性を活かして相乗効果を発揮することを目的に、平成27年度から毎年、開催しています。

《第一部》

- （1）令和8年度事業経過報告（「高付加価値観光コンテンツの造成及び情報発信」について）
- ・ 拡大するインバウンド需要の更なる取り込みに向けて、大きな経済波及効果が期待できる「高付加価値旅行者」に訴求するため、「既存の観光コンテンツの抽出」「新たな観光コンテンツの造成」「PR用素材の企画・制作」の3点を12月末までに実施し、その後、OTAやSNS等を活用した情報発信を行う方針として、4市共同で取り組んでいる。
- （2）令和9年度事業案（「二次交通を効率的に活用したインバウンド観光客向け周遊ルートの整備」について）
- ・ 瀬戸内海エリアは、多様な観光資源と瀬戸内国際芸術祭等によって国際的な認知度が向上しており、インバウンド観光客の多くは、移動手段として公共交通機関を活用しているが、訪問エリアが限定されるなどの課題がある。
- ⇒ 4市で連携し、電車・バスやレンタカーなどの二次交通を効率的に活用したインバウンド観光客向け周遊促進事業を実施することで、移動利便性の向上と地域間の周遊促進を図ることで意見集約。

《第二部》

- （3）テーマ意見交換（「公共交通を活用した観光施策」について）
- ・ 本議題からは、4市の市議会議員をゲストとして招き、4市長4議長の合計8名で、4市の事例の共有や意見交換を実施。
 - ・ 4市には、鉄道、バス、高速船、路面電車等、地域に根差した多様な公共交通が存在しており、これらは住民の移動手段のみならず、観光客が目的地に向かう移動手段にもなるため、観光客・地域住民・交通事業者、それぞれにとってメリットのある取組を進めていく必要がある。
- ⇒ 広域的な周遊を促進し、瀬戸内エリア全体を大きな面として楽しんでもいただける観光施策を展開することにより、さらなる誘客拡大や周遊促進につなげていくことで意見集約。

《瀬戸内4県都市長会議当日の様子》

